

基本理念

基本方針

現状・課題

取組みの方向性

施策

地域医療は、まちづくり

基本方針1

住民の医療需要が変化しても、適切な医療が受けられること

市内医療機関へのアクセスが不十分

1-1 市内医療資源の最適配分に向けた医療機関等の連携強化

1-1-1 医療従事者の採用・配置等の人材政策や医療提供拠点の配置適正化等について市内医療機関等が連携強化して取り組む体制の構築に向け、市内医療機関と教育機関が連携して検討を推進します。

1-2 医療提供体制の充実にに向けた新たな政策的対応の検討

1-2-1 医療の供給強化が必要な範囲を特定した上で、投資対効果が見込まれる事業について、公的支援も含めて検討します。

1-2-2 遠隔診療等の先進的テーマや新たなサービスモデルについて必要性を見極めてテーマを選定し、技術調査や参考事例調査を実施した上で、投資対効果が見込まれる事業について検討します。

市外医療機関との連携が不十分

1-3 市内医療機関が一体となった市外医療機関との連携パス構築

1-3-1 市内医療機関で連携して、市外医療機関との送迎協定の締結等の連携強化に向けた検討を進めます。

基本方針2

医療従事者が誇りを持って働ける、持続可能な地域医療

医療従事者の疲弊

2-1 医療従事者の労働環境改善

2-1-1 医療従事者の働き方改革に向けて、市内医療機関が連携して検討を進めます。

医療従事者間の壁

2-2 医療従事者間のコミュニケーション改善

2-2-1 所属組織や職種を超えて医療現場に従事するスタッフの意見を交換する機会を設けます。

医療従事者の能力開発・育成機会の不足

2-3 医療従事者の能力開発・育成機会の創出

2-3-1 医療従事者の能力開発・育成に向けて、市内医療機関と教育機関が連携して検討を進めます。

医療従事者の不足と高齢化

2-4 医療従事者確保に向けた検討

2-4-1 地域全体の将来的な見通しを持った将来戦略の策定に向けて、市内医療機関と教育機関が連携して検討を進めます。

2-4-2 市内医療機関における研修の質を向上させ採用に結びつくことを目指して、市内医療機関と教育機関が連携して検討を進めます。

2-4-3 潜在看護師をはじめとした離職者の把握、復帰支援について、市内医療機関、教育機関と連携して検討を進めます。

基本方針3

子どもを産み育てやすいまちを目指した出産・子育てサポート体制の整備

周産期・小児医療についての市民の不安

3-1 市政の方針や人口ビジョンを踏まえた政策的対応の検討

3-1-1 保育・教育等の関連分野と連携し、予算制約等を踏まえた現実的な取組みについて関係者間での検討を進めます。

基本方針4

地域での自立した生活に寄り添う基盤の整備

住民生活支援のための関連分野との連携強化の必要性

4-1 地域包括ケアシステム構築に向けた医療分野の関与強化

4-1-1 多職種連携の現場における意見を把握し、医療従事者が疲弊している現状にも配慮しながら、地域包括ケアシステム構築のために医療が担うべき役割や目標を検討します。

4-1-2 介護分野・交通分野と連携して、医療機関利用者の利便性向上に向けた通院支援や交通施策を検討します。

4-1-3 在宅医療を担う人員等の拡充に向けて、市内医療機関等が連携して検討を進めます。

住民と医療機関の相互理解・信頼の醸成の必要性

4-2 住民目線に立った説明の強化

4-2-1 住民が不安・不満を感じているポイントを踏まえて、市内医療機関の実績、考え方等についてのわかりやすい説明・訴求を強化します。